

ブドウ接木試験

第2報 露地挿木接と機械接について

菅尾 宗敬・小園 照雄・松尾 平

(園芸試験場久留米支場)

1. まえがき

すでに一般化している(温床加温)英式くら接を簡易化し、且つ能率化するために、露地挿木接と機械接について試験して来たので其の結果を発表する。

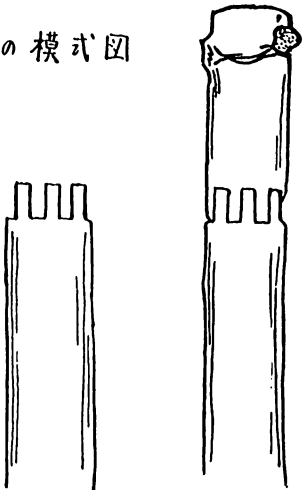
2. 試験方法の概要

露地挿木接：従来の英式くら接に比し異なる点は、本法が接いで直ちに苗圃に植出し、癒合床に入れない点だけである。接木時期は、4月下旬と5月上旬の2回に行なった。

機械接：本法は接木刀を用いて切り込みを入れる代りに、動力付多板丸鋸(矚IPの電動機のシャフトに、直径30.5cm, 厚さ1.4mmの丸鋸4枚を、厚さ1.4mmのスペイサーと入れて組立て、毎分約3,000回転する)で図1の如く切り込みを入れて挿し込んで接木した後、電熱温床に入れ、約40日間加温(約27°C)した。

第1図 接口の模式図

接口の模式図



切り込みを入れた状態 接ぎ合わせられた状態

3. 結果及び考察

(イ) 露地挿木接：第1表は接木時期を検討した結果である。この結果では4月下旬より5月上旬の方が活着率が良好であった。第2表は活着率を高める為にα-NAAを処理した結果である。無処理に比し活着率を高め、概して50~100ppmがよかつた。

第1表 露地挿木接の活着

台木品種	接木時期	試験年度	植出本数	活着本数	活着率(%)	得苗本数	得苗率(%)
Teleki 8 B	4.下	35	47	12	25.5	10	21.3
		35	49	23	46.9	19	38.8
	5.上	36	50	29	58.0	20	40.0
		35	50	20	40.0	16	32.0
101-14	4.下	35	49	32	65.3	22	44.9
		36	50	18	36.0	10	20.0
Hybrid Franc	4.下	37	45	20	44.4	*	26.6
		35	30	10	33.3	8	26.6
	5.上	36	50	29	58.0	23	46.0
		37	49	32	65.3	*	*

note. 穂木は Cambell's Early.

*印は37年で未調査

第2表 活着に及ぼす α-NAA の効果

台木品種	接木時期	α-NAA濃度 (ppm)	試験年度 (単位%)		
			35年	36年	37年
Teleki 8 B	5月上旬	無処理	46.9	58.0	—
		50	—	80.0	—
		100	46.9	74.0	—
		200	—	44.0	—
Hybrid Franc	5月上旬	無処理	33.3	58.0	65.3
		50	—	68.0	89.6
		100	44.4	80.0	76.0
		200	—	78.0	70.0
Teleki 5 C	5月上旬	無処理	36.8	26.0	—
		100	40.8	84.0	—

第3表 機械接と手接による活着

穂/台木	接木年月日	接木方法及α-NAA処理	接木本数		植出本数		活着率	
			本	本	本	本	%	%
巨峰/Franc	37. 3.23	機械接	水浸漬	50	50	28	56	
			50ppm	50	50	38	76	
			100 "	50	50	30	60	
			200 "	50	50	26	52	
Cam/Franc	37. 3.20	機械接 無処理	244	202	88	36.1		
Cam/Franc	37. 3.20	手接 無処理	375	314	189	50.4		

* Cam...キャンベルアーリー
Franc...イブリードフラン

(ロ) 機械接：この機械では1日(8時間)1人平均, 000本接木可能で能率的である。活着率は第3表の通りである。Cam/Francの手接, 機械接共, 業者が行つたものであり(初年度), 巨峰/Francは著者等が接木したものであり, 機械に習熟したら高い活着率を示すと思う。

4. むすび

以上のように本試験の成績によれば、従来行われなかつた露地接ができるようになり、又機械を用うれば、著しく能率を向上することができる。